

日本医師アマチュア無線連盟会報

No.67

第32回 MARS 総会(北海道総会)を顧みて

MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人(岩手県)

平成20年5月24日(土)から25日(日)に北海道千歳市の ANA クラウンプラザホテル千歳にて第32回 MARS 総会が無事に開催出来ましたことをご報告申し上げます。昨年の第31回 MARS 総会(大阪)では沢山の MARS 会員が集まり、前会長現名誉会長の東條純一先生の責任のもとに4月の日本医学会総会に合わせた大阪開催において、次年は北海道の開催との方向がたまり、小生がその企画を担当することになり、早くも一年が過ぎ去ったわけですが反省させられたことが多く残されました。

当初8月中旬に北海道小樽をお訪ねして、札幌病院理事長の多田武夫先生のご協力を得まして、案内および旅行のプランを練りました。土曜の午後の総会の開始時間等は遠方より多くの方々を千歳に集まることを考えると空港の近くのホテルを確保することとし、さらに翌日のエクスカッションは洞爺湖サミットの直前になるが、洞爺湖への観光を中心とする計画と致しました。

北海道総会でもあり、JARL 北海道支部長(JARL 理事)の JASATG 原恒夫先生の御講演を検討したわけでありましたが、丁度 JARL

総会と日程が重なりそれが不可能となりました。そのためにその特別講演の人選に時間がかかり、多くの会員諸先生方にご迷惑をおかけして申し訳なかったと思っております。

北海道でこの総会を行うのでそれにふさわしい御講演を誰にと思いましたが、北海道在住の多田先生に頼むことに致しました。そして出来れば北海道大学の前身札幌農学校に関係するお話を頂けないかとお願い致しました。多田先生は北大ご出身でもあり、北大総合博物館長である藤田正一先生にお願いすることになりました。それは小生にとってはとても感謝でありました。

当日は東北・北海道の天気は曇りの状態でしたが、宮城仙台地方が昼頃から濃霧になり、千歳へのフライトが欠航になり、渡辺先生が参加不可能となったために、総会の司会進行は JF3JON 田中憲児先生にお願いし議長は JH2QBB 丸山暢先生にお願いして総会を開会致しました。物故された JR1VUF 河野一男先生への Memorial key は JA3ASU 狭山信矩先生に例年のようにお願い致しました。総会は丸山議長の下に庶務報告事項ならびに会計報告については JL1BGP 井上文正先生、

MARS AWARD およびMDネットについては3.5MHzのネットについてはJA1KXT 相田信男先生に報告頂きました。さらに事業計画、予算、役員会改選については別表に示すような方向で承認されました。平成21年度の総会開催地については平成23年の開催が東京での医学会総会になることから、協議して決める方向で承認されました。

特別講演は北海道大学総合博物館長藤田正一先生をお迎えして、「クラーク博士とその弟子たち」という北海道大学の前身である札幌農学校の草創期のお話を大変興味深く伺いすることができ、会員一同感謝でございました。(この内容については別記を参照して下さいますようお願い致します。)

翌日、貸し切りバスにより洞爺湖へのエクスカージョンが行われました。心配した天候も晴れ間が見えて、丁度洞爺湖周辺のマラソン大会が開催されておりましたが、特別に洞爺湖遊覧船への予約により中島等への遊覧のひと時を持つことが出来ました。さらに洞爺湖ビジターセンターおよび火山科学館の見学をすることが出来ました。科学館は火山全体の学びと共に、1977年の噴火体感ならびに2000年噴火の体験が映像と震動によって追体験が可能でした。

有珠山の様々な側面を学ぶ大変貴重な時間を持つことが出来ました。

久しぶりに見る昭和新山は学生時代とは大変異なる様相でしたが、その近くで昼食ジンギスカンを頂き、もう一度札幌郊外にまで戻り、近代化されたサッポロビール工場の見学を終えて、千歳空港で解散になりました。

今回、北海道におけるMARS会員の増強が大きな目的であったわけですが、その目標からは程遠い内容になりましたが、多くの同伴の会員も合わせて20名の参加を頂き、MARS北海道総会を無事終えることが出来ましたことは、誠に感謝で御座いました。しかしながら、開催地から遠隔地での総会の準備には限界があることも多いことを痛感いたしました。今回の総会については、会員各位におかれましては不十分な準備で、色々不自由なこと等が多かったことを反省し、お詫び申し上げたいと存じます。そのような状況にもかかわらず、MARS北海道総会に参加して頂きました、会員各位に心から感謝申し上げたいと存じます。またこれまでご支援を頂きましたJA8EBH 多田武夫先生と日本旅行小樽支店の皆様様に心から感謝申し上げまして第32回MARS総会・北海道総会の報告に替えさせて頂きたいと存じます。

第33回 MARS総会

平成21年4月18日(土)

京都市にて開催予定

MARS 会員都道府県別分類

| | | | |
|-----------------------------|--|--|--------------------------|
| (J A 1) 20局 | | | (J A 5) 3局 |
| 東京都 JA1FF JA1BOW JF1SXY | | | 香川県 なし |
| JK1AIN JL1BGP JP1HIS | | | 徳島県 JA5GPJ JA5POS |
| <u>JH7WKU</u> <u>JR9FQO</u> | | | 愛媛県 なし |
| 神奈川県 JH1IAA JE1TNL | | | 高知県 JH5KAJ |
| 埼玉県 JR1CDJ JR1JIC JE1MMK | | | (J A 6) 5局 |
| JL1LRJ | | | 福岡県 JA6BMB JA6RQK JH6IBM |
| 茨城県 JI1VAH | | | JG6DAO |
| 群馬県 JA1KXT JR1SJD | | | 大分県 なし |
| 千葉県 JM1BIX | | | 熊本県 なし |
| 栃木県 JF1EJS JO1RTV | | | 宮崎県 なし |
| 山梨県 なし | | | 鹿児島県 なし |
| (J A 2) 8局 | | | 佐賀県 JR6EZJ |
| 愛知県 JA2DQH JH2QBQ JR2AXV | | | 長崎県 なし |
| JG2XEJ | | | 沖縄県 なし |
| 静岡県 JA2BIV JE2ANG JE2KKI | | | (J A 7) 22局 |
| JO2DBR | | | 青森県 JA7VAB JR7BWP |
| 岐阜県 なし | | | 秋田県 JH7MSL JE7MMC |
| 三重県 なし | | | 岩手県 JA7AOM JA7PPA JH7IIR |
| (J A 3) 33局 | | | JH70LB JH7XGQ JR7QWT |
| 京都府 JA3ASU JH3SQM JH3SQN | | | JE7EDF JG7CRJ |
| JH3SRC JR3HFS JR3HG Y | | | 山形県 なし |
| JR3JJQ JF3ITN JF3NXJ | | | 宮城県 JA7EVM JH7CAI JH7EQW |
| <u>JK1QLR</u> | | | JH7QFA JR7CAD JM7USW |
| 大阪府 JA3BQT JA3LDH JA3WKF | | | 福島県 JA7FHH JA7RTM JE7GFM |
| JH3AEF JH3MWR JR3KBI | | | JJ7BRL |
| JR3LJI JR3MCI JE3RZA | | | (J A 8) 4局 |
| JF3EKP JJ3MIG JL3SIK | | | JA8FOH JA8JDQ JA8RSJ |
| 滋賀県 JF3PMG 大塚博紀 | | | JI8MLV |
| 兵庫県 JA3XED JH3GOB | | | (J A 9) 3局 |
| 奈良県 なし | | | 富山県 なし |
| 和歌山県 JH3TCC JR3SIK JF3JON | | | 石川県 なし |
| JI3CIN JJ3KUL JM3BCQ | | | 福井県 JA9SN JH9HDD JE9RWF |
| JN3ASW | | | (J A 0) 4局 |
| (J A 4) 5局 | | | 新潟県 JA0CEP JA0HGN JH0LME |
| 岡山県 JH4TIC JE4EWM(exJA5LDZ) | | | JE0BWH |
| JG4JFW | | | 長野県 なし |
| 広島県 JH4DPL JH4UYB | | | |
| 鳥取県 なし | | | |
| 島根県 なし | | | |
| 山口県 なし | | | |

_____は他エリアからの移動局

計 107 局 (2008 年 9 月現在)

第32回MARS北海道総会

2008年5月24日 ANA クラウンプラザホテル千歳にて

司会進行 JF3JON 田中憲児(和歌山県)

会長挨拶 JA7AOM 及川忠人(岩手県)

第32回 MARS 北海道総会に全国から千歳までお集まりいただきましてありがとうございます。昨年の大阪の総会で北海道での開催ということが決まり、その後準備をさせていただき千歳で開催させていただきました。岩手県からは近いようで遠かったので、小樽にある札幌病院の多田武夫先生にご協力いただきました。日本旅行の小樽支店をご紹介いただいてそこに実務的なことをお願いいたしました。

また、特別講演につきましても多田先生が北海道大学のご出身でいらっしゃいますので、北海道大学の総合博物館長で、獣医学部の生理学の教授をなさっていた藤田正一先生に「クラーク博士とその弟子たち」というお話をさせていただきます。宜しく願いいたします。

生憎本日は濃霧のため仙台からは飛行機が飛ばないのでお見えになれない方があるのご連絡がございました。突然のことでびっくりしておりますが自然のなせる業ということでどうにもならないなと思っております。

まだ、お集まりでない方もいらっしゃいますがすすめさせていただきたいと思いますので、どうぞ宜しく願いいたします。今日は本当にありがとうございました。

議長選出

JH2QBQ 丸山 暢氏(三重県)を選出

報告事項

庶務報告 JL1BGP 井上文正(東京都)

会員数 107名

入会 1名 JE1TNL

退会 1名 JA3HQ

Silent Key 2名

JR1VUF/AH0BB JO2IXU

Memorial Key DE JM1ZZM

by JA3ASU 狭山信矩(京都府)

事業報告

MD ネット JA1KXT 相田信男(群馬県)

7MHz は全く出来ない日かなりの日数あったのですが、3.5MHz は年間を通じてQSOできない日はありませんでした。3.568MHz で出ておりますけれども、80mは大体3kHz 間隔で出ております。68が大変良い周波数なので昔から7エリアのOM が確保してくださってたんですが、遅くなると一人では確保できなくなって71か65に行くのですが、平壤からのものと思われるAM放送のQRM がひどく45まで下りたらバンドにMARS ネットが2つできてしまったこともありました。

05:30にCQを出すのですが、JR3HGYさんが05:50に呼んでいただけるので、だいたいそれ位から始まってます。

MARS NEWS JF3JON 田中憲児

昨年夏に大阪の医学会総会特集号として少し厚みのある65号を、今総会の前に66号を発行いたしました。

MARS AWARD JA1KXT 相田信男
 1)MARS 医学 AWD 発行状況
 No.162 JE2RZS 静岡市・進藤 OM class B
 No.163 JG2GSY 名古屋市・山崎 OM
 class B / 144MHz・SSB
 No.164 JR2NRP 岡崎市・本多 OM
 class B / 50MHz・SSB
 No.165 JA1SIQ 葛飾区・土田 OM class B
 2)MARS 医学 AWD II 発行状況
 A-2 JH1REP 高崎市・大塚 OM
 225pts / 7MHz SSB
 B-10 JH4DGN 岡山市・松本 OM 125pts

3)会計

収入の部:

| | |
|--------------|---------|
| 前年度からの繰越 | 3,281 円 |
| MARS AWD 申請料 | 3,200 円 |
| 合計(A) | 6,481 円 |

支出の部:

| | |
|------------------|---------|
| AWD 送料(JA) 270×6 | 1,420 円 |
| その他送料 | 1,520 円 |

| | |
|-------|---------|
| 文房具等 | 3,143 円 |
| 合計(B) | 6,083 円 |

合計(A-B) = 398 円 → 次年度に繰越
 なお、年間賞(本年度は STANDARD VX-3)
 は本部会計に依存しました。

4)MARS 医学 AWD 年間賞抽選

懇親会での抽選の結果、JR2NRP 局に決
 定しました。

5)その他の報告

昨年運用した 8J3GAJMC の QSL カードは
 すべて発行済みです。記念局に宛てて届いた
 DX からのカードを懇親会で供覧します。

MARSホームページ JF3JON 田中憲児

JH3TCC 家田勝幸先生からの QSP として
 代理でご報告申し上げます。

5月までの1年間に17,876人の訪問があり
 ました。最新の更新はJH2QBQ丸山先生ご夫
 妻の瀬戸内海・淡路島クルージングです。

平成19年度 会計報告 JL1BGP 井上文正

| 収入の部 | 予 算 | 決 算 |
|-------|-----------|-----------|
| 繰越金 | 1,757,905 | 1,757,905 |
| 定期預金 | 1,500,000 | 1,500,000 |
| 普通預金 | 257,635 | 257,635 |
| 現金 | 270 | 270 |
| 会費収入 | 808,000 | 440,000 |
| 合計(A) | 2,565,905 | 2,197,905 |

| 支出の部 | 予 算 | 決 算 |
|-----------|---------|---------|
| MARSニュース | 600,000 | 437,725 |
| MARSアワード | 50,000 | 27,800 |
| ホームページ管理費 | 120,000 | 110,880 |

| | | |
|--------|-----------|---------|
| 送料通信費 | 100,000 | 26,560 |
| 総会助成金 | 100,000 | 100,000 |
| 事務用品費 | 10,000 | 210 |
| 事務員謝礼金 | 60,000 | 60,000 |
| 慶弔費 | 50,000 | 0 |
| 雑費 | 10,000 | 0 |
| 合計(B) | 1,100,000 | 763,175 |

(A)-(B)=次年度繰越額

1,434,730

会計監査報告

帳簿、通帳、領収書等を厳正に確認の結果、会計は適正に運用されていることを証します

平成20年5月16日 監事 JA1FF 国府田守雄

平成20年5月21日 監事 JH3GOB 稲見 修

JR1VUF 故河野一男先生の奥様より、金十万円をご寄付いただきましたのでご報告申し上げます。

議事

平成20年度事業計画案 承認

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1)MDネットの充実を図る | する |
| 2)MARS NEWS の内容を充実させて多様な投稿内容へ拡大する | 5)災害時のMARSの役割並びにアマチュア無線の災害時の役割と課題を論議する |
| 3)MARS アワードの継続 | 6)各地域におけるMARS活動の活発化を図る |
| 4)MARS ホームページの内容を吟味、検討 | 7)MARS への新入会員を増加させる |

平成20年度予算案 承認

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-------|-----------|-----------|---------|
| 繰越金 | 1,434,730 | MARSニュース | 600,000 |
| 会費収入 | 800,000 | MARSアワード | 50,000 |
| 合計(A) | 2,234,730 | ホームページ管理費 | 120,000 |
| | | 送料・通信費 | 50,000 |
| | | 総会助成金 | 100,000 |
| | | 事務用品費 | 5,000 |
| | | 事務員謝礼金 | 60,000 |

| | |
|-------|-----------|
| 慶弔費 | 50,000 |
| 雑費 | 5,000 |
| 合計(B) | 1,040,000 |

(A) - (B) = 次年度への繰越金 1,194,730

役員改選に関する件 承認

JH3AEF 東條純一氏を名誉会長に推薦いたします。

| 役 職 | コールサイン | 氏 名 |
|-------|--------|--------|
| 名誉会長 | JA1FF | 国府田 守雄 |
| 名誉会長 | JH3AEF | 東條 純一 |
| 監 事 | JA1FF | 国府田 守雄 |
| 監 事 | JH3GOB | 稲見 修 |
| 会 長 | JA7AOM | 及川 忠人 |
| 副 会 長 | JL1BGP | 井上 文正 |
| 副 会 長 | JA1KXT | 相田 信男 |
| 理 事 | JP1HIS | 奈良 圭之助 |
| 理 事 | JA3ASU | 狭山 信矩 |
| 理 事 | JH3TCC | 家田 勝幸 |
| 理 事 | JF3JON | 田中 憲児 |
| 理 事 | JH6IBM | 石井 文理 |
| 理 事 | JH7QFA | 渡辺 孝志 |
| 理 事 | JH7OLB | 岩動 孝 |
| 理 事 | JH0LME | 姉崎 静記 |

平成21年度開催地について

今回の医学会総会が東京でなければ東京で、3年後に東京で医学会総会があるのであれば7エリア、3エリアを候補として開催を検討しておりますので、引き続き協議してまいります。

閉会の挨拶 JL1BGP 井上文正

本日は皆様お忙しいところ北海道総会に出席していただきありがとうございました。いつも出席されている先生方の参加が今日は少ないですし、昨年一昨年といつも総会に出席されていた先生方が数名お亡くなりになられて少し淋しい状態が続いておりますけれども、この会が今後益々発展していくように祈りながら本日の会を締めたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

北海道総会参加者

| Call Sign | 氏 名 |
|----------------|----------|
| JA1KXT | 相田信男、洋子 |
| JF1EJS | 奥谷雅生、香代子 |
| JK1QLR | 長瀬啓介 |
| JL1BGP, JL1XWR | 井上文正、喜代 |
| JR1IOM | 河合健彦 |
| JH2QBQ, JH2UDD | 丸山暢、成子 |
| JA3ASU, JR3RJY | 狭山信矩、陽子 |

| | |
|------------------------------------|---------|
| JH3GOB | 稲見 修 |
| JF3JON | 田中憲児 |
| JA7AOM | 及川忠人、頼子 |
| JR7QWT | 小時田宏佑 |
| JA8JDQ | 三部重雄 |
| JA8EBH | 多田武夫 |
| 特別講演講師 | 藤田正一 |
| JH7QFA 渡辺孝志先生は、濃霧のため航空機が欠航となり参加できず | |

第32回MARS総会懇親会



日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977年(昭和52年)に創設されたドクターハムの親睦のための団体で、既に31年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

1) 総会と懇親会

毎年4月の第一土曜日の午後、全国各地で総会と懇親会を開催している。(平成21年は4月18日京都市において開催予定)

2) 毎水曜日の朝、3.568MHz(05:30~06:30)及び7.060MHz(06:30~07:00)付近でロールコール(MD ネット)を行っている。

3) 日本医師アマチュア無線連盟会報(MARS ニュース)を年2回発行している。

4) MARS 医学アワードおよびMARS 医学アワードIIの発行。

5) クラブ局(JM1ZZM)を設置している。

6) MARS のホームページを開設している。

URL は <http://www.jmars.jp/>

(談話室へのパスワードは mars)

事務局:

〒175-0092 東京都板橋区赤塚4-17-11

井上医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 03-5968-5777

F A X 03-5968-5778

E-mail fumimasa@cb3.so-net.ne.jp

会費 : 入会金 5,000 円、年会費 8,000 円

入会方法: 事務局にご連絡下されば、入会書類をお送りします。

会長 及川忠人(JA7AOM)

特別講演:

クラーク博士とその弟子達 講演要旨(1)

北海道大学大学院名誉教授

北海道大学総合博物館前館長

藤田 正一 先生

今年の1月に先人からの伝言と言うコラムが朝日新聞に掲載され、何故今クラーク博士が注目されるかが話題となった。それは札幌農学校においてなぜ僅か8ヶ月の滞在でこれほどのインパクトを学生に与えることが出来たのか？東大にも沢山のお雇い外国人教師がいた。なぜ、札幌農学校のクラーク博士だけが？クラーク博士の個性と魅力、彼の教え子でもある米国人教師たちの個性、そして共通項とは・・・等の疑問であった。

クラーク博士の個人的魅力は「長身で恰好が良かった。秀才でアマースト大学出身者で初の博士号取得者であった。弁舌さわやかで、聞く人を魅了した。南北戦争の英雄であった。」としている。また「高い理想、たゆまざる努力、揺らぐことのない目的意識を持つ人」との評価もあったと言う。強靱な体力と、若々しさ、明るく、威張らない性格。有言実行の人。そして茶目っ気がクラーク博士の魅力を形成していたらしい。

1952年元東大総長の矢内原忠雄先生は「明治の初年において、日本の大学教育には二つの大きな中心があって、一つは東京大学で、一つは札幌農学校でありました。この二つの学校が日本の教育における国家主義と民主主義という二大思想の源流をつくったものであ



る。大雑把に言ってそうゆうふうに見えると思います。日本の教育、少なくとも官学教育の二つの源流が東京と札幌から発しましたが、札幌から発したところの、人間を造るというリベラルな教育が主流になることが出来ず、東京大学に発したところの国家主義、国体論、皇室中心主義、そう言うものが日本の教育の支配的な指導理念を形成した。その極、ついに太平洋戦争を引き起こし、敗戦後、日本の教育を作り直すという段階に今なっているのであります。」と述べております。さて「民主主義教育の源流」「札幌から発したところの、人間を造るというリベラルな教育」の基盤はどこから来たのか。まずクラーク博士の経歴を紹介しましょう。クラーク博

士(1826-1886)は1848年アマースト大学を卒業し、1852年アマースト大学教授となり、1861年から1863年まで南北戦争出征、1867年にマサチューセッツ農科大学長となっている。1876年7月31日札幌到着8月14日札幌農学校開校式に望み約8ヶ月滞在して翌年の1877年4月16日札幌を出発し帰国1886年3月にアマーストにて逝去している。クラーク博士の通ったアマースト大学は1870年のクラスに新島襄が最初の日本人として学んでいる。アマースト大学の校風を表すものとして次のことが記載されている。

”We in the liberal arts colleges believe that teacher and student must stand face to face in the many conversation that are the work of both; we believe in teaching as conversation because the best teaching is conversation.”とあります。クラーク博士は札幌にくる15年前にアメリカの南北戦争時の北軍の大統領リンカーンの奴隷解放の呼びかけに応じ、自ら志願して出征した。(第21歩兵連隊)

北軍が大義とした独立宣言の思想はこの時代に大いに発揚した。この精神はクラーク博士の確固たるバックボーンになっている。アメリカ独立宣言における南北戦争時の北軍の大義とはアメリカの独立宣言にある自由・平等・自主・独立の精神である。すなわち「すべての人は平等に造られ、造物主によって、一定の奪うべからざる天賦の諸権利を付与されている。その中には生命、自由、幸福追求の権利が含まれる。……これらの権利を確保するために、人類の間に政府が組織される。そして、その正当な権力は被治者の同意に由来する。……もし政府がこれらの目的に反する場合には、人民は

政府を改廃し、安全と幸福をもたらすと考えられる原理に基づいて、新たな政府を組織する権利を有する」とあり、この思想こそがクラーク博士のバックボーンにしみこんでいたと思われる。

クラーク博士は開校式辞の中で次のような言葉を述べております。「長年にわたり、東洋の国々を暗雲の如く包んでおりました、排他的階級制度と、因習との暴政から、貴国がかくも見事に解放され、自由を獲得されたことは、教育を受けんとする学生一人ひとりの胸のうちに高邁なる志(a lofty ambition)を目覚めさせずにはおきません、若き紳士諸君(young gentlemen...)…」とある。排他的階級制度とは土農工商のことを示し、クラーク博士にとっては奴隷解放のために南北戦争に出征したことから特別な関心事であったのである。さらに開放自由の獲得は学生に大志を抱かせるものであり、高邁なる志とは高い理想に向かって意欲を持って邁進せよとの言葉であり、クラーク博士の別れの言葉も「大志を抱け」であったことは有名である。この中で若き紳士諸君と呼びかけているが、クラーク博士は後に政府から提示された校則を破り捨て、「こんなことで人間が造れるか。紳士たれ。これで十分だ」と言って規則で縛るのではなく、自由を享受させながら、内から発する責任感と自律心とを求めたのである。実に1915年のサンフランシスコ万博で配布された英文の北大略史の中にクラーク博士の残された英文の北大略史の中にクラーク博士の残された **Boys, be ambitious** の北大の解釈がある。「青年よ大志を抱け。金銭や私利私欲や人が名声と呼ぶはかないものに対してではなく、知識や正義や人々の向上のために、人としてあるべき最高の姿に到達できるように、青年よ大志を抱け。」とあります。これは当時の風潮の立身

出世ではなく、知識、正義、社会貢献、人格の完成を大志の目標とした教育精神をここに見ることが出来る。キリスト教の教義に基づいた解釈でもあると言えよう。イギリスの前首相である Major 氏がワシントン大学の卒業式に臨んで卒業生に送った言葉(2006年5月)は“Be Ambitious, Aim High” 大志を抱け、高きを目指せ! であったそうであり Be ambitious と
言う言葉は現代も生きている言葉である。また内村鑑三先生は(1927年9月に)このクラーク博士の言葉の経緯について述べている。それによれば「クラーク博士が Boys be ambitious! との言葉を発せられた経路を考えますに、先生の生国すなわちニューイングランドはこの精神が
充ち満ちていて、その精神的環境の中からブライアント、ソロー、エマースンの如き偉人を産み、また先生を産んだのであります。そのニューイングランドのピューリタンの意気が先生を通してこの言葉になったのでありまして、この簡単な言葉の背後に全ニューイングランドが在ると考える時に、これは実に意味深い言葉となるのであり、札幌の今日あるを得たのはクラーク先生を通して、ニューイングランドの気風が大いに貢献したのだと思うときに札幌はいっそう
貴いものなります。と述べております。車のナンバープレートに見る地方の土地柄を表現するものに、マサチューセッツ州のナンバープレートには「アメリカの精神 The spirit of America」と書かれており、となりのニューハンプシャー州のものには「自由か死か Live free or die」と書かれてありこれらニューイングランド諸州にはアメリカ

独立戦争以来のリベラルな、自主独立の精神が今も根強く生きているのであります。つまりニューイングランドの気風はアメリカ独立宣言の精神つまりピューリタン精神に基づくものであることに気づく必要があります。ピューリタン革命における国民主権、平等選挙、信仰の自由、言論の自由、法の下での平等など、これらの諸権利は生得の権利(自然権)であり、国王あるいは議会の権威の源泉は国民による自然権の信託であるとする思想がその背景にあり、ロックの民主主義思想の基本になり、さらにアメリカ独立宣言の思想的背景であり、また札幌農学校の民主主義的教育の背景を形成しているのであります。

従ってクラーク博士の精神とはクラーク精神(Clarkii Spirit)は自主・独立の精神を持った確固たる個の確立と自制・自律で表わされる自分の行動には責任が伴うことを弁えて行動する紳士たれ(校則)とする Be Gentleman の基本原則と、自由・平等・博愛の精神を基本とする精神であり、また弱者の側に立つ視点や正義を主張する不屈の精神をも示すのであります。またクラーク博士が連れてきた米国人教師達は全てマサチューセッツ農科大学の卒業生でありクラーク博士の教え子であり、札幌農学校から人材を輩出した原因はもちろん各人の個性によるのは無論であるが、米国人教師の薫化があずかって力ありしと自分は思うと札幌農学校の2期生の町村金弥が述べている。

(続く)

(文責 及川 忠人)

会 員 異 動

入 会 JE1TNL 東野一隆先生(神奈川県中郡大磯町)

平成19年度 MARS ロールコール(7M)報告

de JH7QFA 渡辺孝志 (宮城県)

この報告は5月24日の北海道千歳総会で報告の予定でしたが仙台空港が24日25日と濃霧の為の欠航で参加出来ず残念でした。その間MARS会長のJA7AOM及川先生からはいつも総会の進行、講演の講師選定、エクスカージョン、とお詳しいご報告、ご相談をいただいております。また当日急に進行等をお願いいたしましたQBQ先生、有難うございました。AOMさんからは千歳総会の様子をお送りいただきまして成功裏に終了した事に喜びおります。

さて永らくMARSの副会長としてまたロールコール7Mのコントローラーとして活躍なされたJR2IZOさんが19年2月14日のロールコールにお出になったその夕方診察室で倒れられ16日サイレントキーになられました。

最後のQSOの2月14日はコンディションが最悪で当局の方ではAEF,IZOさんがM2~3、HGYさんM2、GOBさん47でした。その日も何時もの様にIZOさんとはSKYPEでお話をしていた「早く太陽の黒点が」等とお話したのが最後になりました。

その翌週21日はコンディションが上がり皆様驚きをもってJON,IBM,AOM,VAB,AEF,GOB,CINの各局が出られ黙祷をささげました。次の28日には3から1エリアともコンタクト出来てEJS,FFさんがネットにお出になりました。先にAEFさんがMARS会報に書いておりましたが2月18日に彼の車で伊丹空港からIZOさんのお別れの会に車を走らせました。その帰りの車中だったと思いますが来週から3のAEF,7のQFAの二人でマイクコントロールをと云う事

を相談しました。その後昨年皆様のご協力で3.5MはKXT OM、7MはAEF,QFAの3と7での丁度良い距離でロールコールを毎水曜日一日もQRTすることなくやって来ました。5月になってAEFさんが事情でネットをしばしQRTとのお手紙をいただきましたがそれにしても長くなっており早いリカバリーが待たれます。

この間HGYさんにAEFさんのお役をさせていただき1,7,0の各エリアをつないでいただいております。ロールコールももう少し太陽の黒点の増える事を祈っており、また多くの各局のお声をお待ちしております(7.060MHz付近で毎水曜日6時30分頃から)。

来年のMARSの総会は4月18日JA3ASU狭山先生のお世話で京都でとか伺っており、楽しみにしております。

千歳総会でおくばりする筈でした19年度の7Mロールコールのコンタクト各局のリストを別紙掲載いたします。



QFAの7Mロータリーダイポールアンテナ
クランク、降ろしています

3.5Mはフルサイズダイポール

| |
|---------------|
| 日本医師アマチュア無線連盟 |
|---------------|

第32回MARS 総会(北海道千歳市)
7M(40m) ロールコール
19.2.21~20. 5. 21

| 局 名 | コンタクト回数 |
|-----|---------|
|-----|---------|

| | |
|-------------|----|
| J A 1 F F | 30 |
| J A 1 K X T | 4 |
| J R 1 C D J | 29 |
| J R 1 V U F | 2 |
| J L 1 B G P | 13 |
| J L 1 L R J | 10 |
| J F 1 E J S | 3 |
| J A 2 B I V | 1 |
| J H 2 Q B Q | 14 |
| J H 3 A E F | 42 |
| J H 3 G O B | 42 |
| J R 3 H G Y | 42 |
| J F 3 J O N | 28 |
| J I 3 C I N | 42 |
| J L 3 S I K | 1 |
| J G 4 J F W | 5 |
| J H 6 I B M | 1 |
| J R 6 E Z J | 8 |
| J A 7 A O M | 45 |
| J A 7 V A B | 30 |
| J H 7 Q F A | 55 |
| J E 9 R W F | 6 |
| J E 0 B W H | 10 |

以上 23局

19. 2. 14. 永く MARS のネットコントローラーを務められた JR2IZO 中村先生が病を得て16日サイレントキーに。

2. 14. (IZO さんと最後の交信)

AEF IZO GOB HGY

QFA (IZO さんと skype で)

翌週の19. 2. 21. から JH3AEF(東條) JH7QFA(渡辺)が2頭立てでネットコントローラーに。

19. 2. 21.

JON IBM AOM VAB

GOB CIN AEF QFA

19. 11. 28. から7M開けず20. 2. 27. 頃まで QFA からは全くコンタクト不可。特に1エリア。

20. 3. 5. 頃から少しずつコンタクト可能に。

5. 21. JON BGP CDJ

FF HGY GOB

QBQ AOM LRJ

CIN RWF QFA

以上 12局

太陽の黒点が見られる。

20. 5. 24.

JH7QFA (渡辺孝志) 記

幽玄な霧の洞爺湖

～北海道総会エクスカージョン～

JF1EJS 奥谷雅生(栃木県)

「今回は、北海道にしましょう。」3年前の沖縄の総会の折、AEFさんが言うのを冗談半分と聞いていたが、今年はそれが実現することになった。2008年5月24日に千歳市内で総会、翌日は洞爺湖周辺のエクスカージョンという計画は、7月に開催される洞爺湖サミットの下見のようで、うきうきした期待感があつたが、期日が近づくにつれて当日のお天気が心配になった。今年は例年になく梅雨入りが早そうで、週間天気予報では本州は梅雨のはしり、梅雨のないはずの北海道も、曇りの予報だった。



そして当日の朝、霧がかかり、風も強かった。せめて午前中は降らないで、と祈る気持ちだったが、出発時には降りはじめ気温も11度と寒かった。

朝7時50分、一行10数名は北遊観光の大型バスに乗り込みホテルを出発した。そのころから雨も降り始めて、うきうきした旅の気分も水を差されちょっと切ない出発だった。

このバスには添乗員さんとガイドさんが同乗し、二人の軽快なガイドで次第に旅行気分に乗せられていった。お天気は「若干崩れていますが・・・」ま、心配はない。そして、総論的な観

光やお土産の話になると、すっかり旅行気分になっていった。

お土産品は空港の売店に何でもあります。評判の「じゃがポックル」、花畑牧場の生キャラメル、もちもちのプリンも。水産物では、カニ、ホタテ、白老のたらこ、苫小牧のホッキ。

もう、お天気なんかどうでもいいや、という気になってくる。

バスは苫小牧インターから高速道路に入って、白老、登別と通過したが、霧がますます深まって、本来なら太平洋がよく見えるというあたりに来て、ガイドさんがどこを走っているのかわからないと言う状況だった。

そんな天候も、虻田洞爺インターを下りるころには雨がやんで、有珠山も姿を現した。約2キロの長いトンネルを抜けるともう洞爺湖畔で、ちょうどその日に開催されていた洞爺湖マラソンで周辺はにぎわっていた。ホテルを出てから約1時間を経過していた。



ガイドさんの説明では洞爺湖は周囲が43キロあって、深さはサロマ湖、支笏湖について北海道で3番目の湖。今年7月に開催されるサミ

ットの会場、洞爺湖ウインザーホテルが湖畔にある。昨年そのホテルでパンを買いましたとQBQさんがぜいたくなお話をする。

湖の中に島が4つありこれから乗る観光船でその中の一つ、一番大きな中島(なかじま)に上陸する。

9時30分に遊覧船に乗りこみ出発した。雨はやんでいたが、薄い霧がかかり見えるとも見えない幽玄な光景が広がっていた。遠くの丘の上に角ばった建物がうっすらと見えて、ウインザーホテルらしかった。「霧の摩周湖」という布施明の歌がずっと以前にあったが、霧の洞爺湖もなかなかロマンチックで、こんなお天気には合っているのかなと思った。



中島で下船して、洞爺湖森林博物館を見学してから付近を散策した。島内には野生ジカがたくさん生息し、鹿用のお煎餅が売られていたが、さっそく買い求めて楽しそうに鹿にやっていたのはBGPさんの奥さまでした。約1時間で遊覧船での観光を終わり、11時前に次の目的地、「火山科学館」に向かったがこのころには

雨はやんでいて、暖かい感じだった。



火山科学館では、有珠山噴火の映像や、1977年に噴火した当時のすさまじい音をボディソニックで再現、体感できた。有珠山は2000年にも噴火を繰り返し、客足の遠のいた洞爺湖温泉では集客のアイデアとして、毎日湖畔で花火を上げる「ロングラン花火大会」を現在も続けている。いつかあのホテルに泊まればきっと見られます。



雨がまた降り始めて、今頃まだ咲いている八重桜がぬれていた。



お昼は昭和新山でジンギスカン鍋を食べた。北海道の3大なべと言え、ジンギスカンと石狩鍋、それに三平汁。人気は何といてもジンギスカンで、花見と言うとジンギスカン、夏は家の庭でジンギスカンなど一年中食べている。これに使うラム肉は生後1年以内の羊の肉でそれより大きくなるとマトンです。ちょっと可哀そう。

食べ方はジンギスカン鍋に野菜を敷きつめて、そこに肉をのせ蒸し焼きのようにして食べる。おいしかったです。



このあたりの名物には、わかさいも、イモ天などもおすすめとのことでしたが、何分にももうおなかがいっぱいというわの空でした。

バスは伊達インターから白老に向かい、「カニ御殿」で海産物を買いながら約15分の休憩。ここもおいしそうなのがいっぱいあって、棒ダラをふくろいっぱい買って来た局長さんもいた。

次の目的地はサッポロビール恵庭工場。バスは恵庭まで道央道をはしり、ガイドさんから北海道の木はエゾ松、花はハマナス、鳥は丹頂、音は時計台の鐘の音などの紹介があった。食べ物ではハスカップのジャム、初値で250万円もした夕張メロン、栗の入った茶わん蒸し、甘納

豆の赤飯もあるよ。お酒では「たんたかたん」という名の紫蘇ショージュ。富良野や小樽のワインなどなど。

ビール工場には3時少し前に着いた。ここは広大な敷地にある近代的な工場で、説明には生産量など大きな数字がたくさん出てきて目が回りそう。1分間に900本の缶ビールを造る機械が稼働している。一通り見学を終わって、出来立ての生ビールをごちそうになった。おいしかったです。



アルコールでほろ酔い気分となったところで、バスは千歳空港に到着、1日のエクスカージャーは無事に終わった。

今年の総会は初めての北海道で、前日の講演会は「札幌農学校におけるクラーク先生について」という重厚な藤田教授の講演もあり、思い出深い総会になった。総会の計画と運営にあたっていただいた、JA7AOMさんはじめ皆さんに心から感謝いたします。

そして、これからも「オールド・ボーイズ・ビー・アンビシャス。ビー・ジェントルマン」の精神でがんばりましょう。

おお北方の王者

金野静一先生講演録から

東八幡平病院 JA7AOM 及川忠人

幼少年時代から源義経の生涯の伝記に興味がありよく読んだ記憶があります。そのためかはその状況は問えないが、弱い者が虐(いじめ)られていると、我慢が出来なくなることが多く、小生には潜在的にそのような性格があることに気づいたのは最近である。その源流は何かと思い返してみると、源義経の生き方、英雄的生き様から幼少年時代に感激した半面、義経の後半の苦難に満ちた生きざまへの同情の念が育まれていた影響があったのかもしれないと思う。修学旅行で平泉を訪れたのは小学6年の時であり、讚衡蔵での仏像の姿に感激して、その記憶から仏像の水彩絵を書いたらそれが文化祭の絵画展で入選して両親に褒められた記憶があります。しかし目で見た印象として最も印象的なのは平泉の高館に上り、松尾芭蕉の「奥の細道」の一節にあるように南部(北方の南部藩盛岡地方)より流れる大河「北上川」を見ながら義経主従の奮戦を想うかべ涙を流したとの記述が印象的であり数百年の時代を超えて「奥の細道」のエッセンスが伝わってくるような気がしてならない。もしもあの平泉が頼朝に滅ぼされずに現存していたとしたら、確実に東北の歴史は変わっていたのではないかと想う。しかしながら歴史には「もしも」は禁句である。いずれ2月上旬の地域医師会での総会で、前県立博物館長の金野静一先生の特別講演「奥州藤原氏と平泉文化」を聴き平泉の歴史の鳥瞰が出来たような感じでもあり、とても印象的であったところを振り返ってみて平泉の歴史の一齣に迫りたいと思う。

文治5年8月22日(西暦1192年)は、源頼朝が28万騎の大軍を率いて7月19日に鎌倉を出発、奥州討伐に来て平泉に到着した日であった。すでに平泉は煙に巻き込まれて、見る影もない様であったと「吾妻鏡」には記載されています。当時の平泉の人口は8万とも10万ともいわれて、その当時、京都が20万人であったことを考えると、大変な人口であり、日本第二の都市であったことがわかります。平成時代の平泉町の人口が9700人であることと800年前のそれがその10倍以上であることは、如何に平泉文化が栄えたかという証拠でもあります。

平泉平定を果たした頼朝は、約38日岩手に滞在したが、その間、平泉の長寿院を訪れてその素晴らしさに感激し、文治5年12月9日に、長寿院にそっくりの2階建ての壮大な永(よう)福寺の建立を始めたと記録されています。頼朝が平泉の寺を見てその源流である京都の文化の一端を学び、鎌倉にそれと大変似た二階堂と呼ばれた寺を建立したことは、平泉文化の質的レベルが如何に高いものであったかが窺い知れることができると思う。

調べてみますと、今でも二階堂という地名が鎌倉に残っており、東北の平泉に来てその文化の根幹にふれたことは頼朝のスケールの大きさを示すものでもあらうと思います。

さて、東北地方は当時北が外ヶ浜、南は白河の壮大な陸地であり、前九年の役、後三年の役で沢山の犠牲者が出たところであり、その犠牲者を弔い、平和浄土の建設のために仏教文化を盛んにして中央との格差を少なくし、こ

れが東北を救いまた日本の平和を作ることになると信じて初代藤原清衡公が建てたのが中尊寺であり、外ヶ浜と白河との丁度中間点にあることから、その名前が命名されたとのことであります。その中尊寺建立供養願文は平泉の理想・政治理念・文化を示したものであります。そして奥州藤原氏二代の基衡は毛越寺、そして三代秀衡は宇治の平等院鳳凰堂にそっくりの無量光院を建立したのであります。寺の数80、僧房侶が800余居たとの記録があり、壮大な文化を創り上げたのであります。

前岩手県立博物館館長の金野静一先生は、たまたま岩手大学教授の森嘉兵衛先生との関係から、昭和25年3月23日、偶然に中尊寺金色堂の科学調査に見聞参加することが出来た。金野静一先生は当時県立久慈高校の教諭として在職中であり、科学調査の中に森嘉兵衛先生を訪ねて偶然の計らいで科学調査の現場に立ち会うことになったそうである。調査員としては岩手医大放射線科教授の足沢三之介先生、そして鞍馬天狗の作家として有名な大仏次郎氏が加わっていたそうである。藤原三代のミイラはよく保存されていたが、清衡公の遺体は7月の死亡であったためか痛みが酷かった。しかし、それまで忠衡の首が秀衡の棺から出てきたが、色々な歴史的な事実や頭蓋骨の損傷やその部位等から判定すると、どうしても泰衡の首であるとしか考えられないとのことであった。当時の歴史から泰衡の首とって秀衡公の棺にいれることは、許されなかったのであろう、それ故に忠節を尽した忠衡の首といえは咎められないと云う暗黙の了解のもとに泰衡の首を納めたとはいえられて来たのであろう。ここに東北の歴史の特徴があると金野静一先生は強調して述べた。ミイラとして調査された藤原三代の遺

体が日本人のものか蝦夷のものかあるいはアイヌの人種に属するものなのかを調査したが、限りなく日本人に近い遺体であったとの結論が血液学的所見、皮膚の指紋の特性、歯の逆咬合が無いこと、そして三体とも人類学的に短頭型頭蓋骨であったことから、まぎれもない日本人であることが判明したのでした。三代秀衡公の棺を開けて、藤原秀衡公の棺を開けるときに、その中心にいた大仏次郎氏も約40名ほどの関係者が居る中で、一瞬シーンとしていたそうである。やがて棺が開けられ、秀衡公の顔を見て大仏次郎氏は次のような感嘆と驚きを交えて静かに言ったその言葉は、「九郎判官義経公を最後までかばった北方の王者！おお北方の王者！」と云う言葉であった。その大作家の大仏次郎氏の云われた言葉と、その感嘆した情景が今でも印象的に残っているということであった。その話を金野先生の巧みな話術が相深まって、800年の時間と空間とを超えて、九郎判官義経公の理解者であった秀衡公の生きた姿がそこに再現されているかのような錯覚におちいってしまったのであります。

多くの先人が歴史に学ぶことの重要性を指摘しているが、当時の平安末期の時代における藤原秀衡公の巧みな政治力と厳然とした経済力が東北に独立国のような平泉文化を謳歌する地域社会を生みまた支えたのであろう。今年平泉が世界遺産への登録が準備されてきたが残念ながらその承認は延期との報告が先月なされている。しかし、浄土思想の地元への影響が具体的に見えないとの指摘を得たようである。平泉に残る金色堂、毛越寺等の平安時代の文化遺産はもちろん重要であるが、藤原氏の地域を育んだ歴史と文化にさらに特に奥州藤原氏初代の清衡公がその人生体験から

浄土思想を重視して、多くの戦乱での犠牲者への敵味方を区別しないという特徴的な鎮魂の思想がそこに存在していることに想いを馳せる必要があるとおもわれます。歴史を原点から学び直すことが如何に大切であることを示してい

るとも言えよう。東北の一地方が繁栄を誇った古い時代の歴史と文化そして先人の生き方を今一度学び直すことが今求められ、時間と空間を超えた「温故知新」の意味が将に問われているような気がしてならなかったのである。

JH2QBQ/MM 丸山先生ご夫妻の 屋久島クルージング 5

5月8日宮崎を6時出航、出口付近は何時もの事ながら大きな波が立ってローリングが激しい、暫く行くと前からの波に変わり多少のパンチングがあるのみとなる。潮に乗り7ノットをキープ、心配していた都井岬の潮流もそんなに激しくなく楽に回れた。油津手前の鶴戸埼ではイルカが伴走してくれるおまけまでついて快適な航海でした、8時間で内之浦に着く。歩いて20分程のお風呂に行く、300円と安い割には綺麗な風呂です。帰り何時も寄る料理屋瀬里奈が今日はお休みで一寸がっかり。帰ると隣に宮崎のヨット「まんぼう」が泊まっていました。屋久島からの帰りだそうです。

5月9日 内之浦を6時に出て種子島に向かう。逆潮を利用するため岸寄りを南下、しばらくは7ノットキープするも佐多岬に近づくにつれ5ノットを切るようになる。種子島に戻るべきか躊躇していると、家内が雨の中種子島で留まっているより、すこしは遅くなくても屋久島まで行きましようと言う言葉に後押しされて、屋久島に直行することにする。大隈海峡を渡りきるころから何処から飛んできたのか蜜蜂が飛びまわるよう

になる、追い払っても直ぐ入ってきてその数10匹以上となる。同じ海を渡る仲間として殺生はしたくなかったが、あまりにうるさく刺される危険をかんじたので殺す事にする。1時間ばかり艇速が落ちましたがその後は6ノットキープ。10時間かかって無事屋久島一奏港に着く。着くと同時にあれほど煩さかった蜜蜂も急に居なくなりました。肥後石油さんに燃料をお願いし、ついでに車を貸してもらう。車は懐かしのスカイラインGT、但し年代ものでクーラーが故障している、でも屋久島を走るには窓を一杯空けて森林浴をしながら走ったほうが気持ちが良い。近くの大浦温泉に入りに行くも私達だけの貸し切りでした。たまたま税関の船が入っており早速聞き取りに来ました。不審船を見つけたら直ぐ連絡して下さいとの事でした。

5月10日 今日から屋久島観光、お借りした車で先ず白谷雲水峡に向かう。5時間コースの太鼓岩まで行くつもりでしたが途中の2代杉でギブアップ、2年前と同じ弥生杉を廻って帰ることになりました。久しぶりの晴天で原生林を森林浴を楽しみながら歩きました。野性の猿や鹿

に出会ったりと興味溢れる2時間の散策でした。



野生の鹿

しっかり汗をかいたので一奏港の丁度反対側にある尾之間温泉に入りに行く、鄙びた温泉で湯船が一つあるだけ、しかし硫黄臭のある本格的なもので料金も200円と格安でした。以前寄った事のあるギャラリー金五山にてコーヒーズブレイク、コインランドリーにて洗濯をして船に帰る。今日は屋久島を半周しました。夜にはバン

クーバー28の加藤さん来艇、夜遅く迄ヨット談義に花が咲く。



気根杉

PS メールは昨晚書いたのですが最干でヨットが岸壁に隠れてしまい、携帯が圏外となり送れませんでした。同じ所に停泊していても一日の内で2度圏外となってしまいます。

屋久島クルージング 6

5月11日 屋久島滞在2日目、きょうは早朝よりひどい雨でしたが10時頃より上がりましたので志戸子のガジュマル園に行く。巨大なガジュマルには圧倒されました。この木は枝から気根が垂れ下がり地面に着いて増えていくので『歩く木』とも言われているそうです。午後は無線の仲間の矢野さん宅を訪問、昨年牧場の管理を止めて色々な野菜やお花を栽培しています。帰り際には無農薬の玉ねぎ、白菜、ジャガイモ、ラッキョウに似たエシャロット等を頂きました。帰りには楠川温泉に入り船に戻りました。戻って間もなく2年前にお世話になった田中さん、取れたての竹の子、椎茸、野菜等を持って

遊びに見えました。以前九州で工務店をやった方で今は屋久島で魚を取ったり、大工仕事をしたりしてのんびり暮らしています。



志戸子のガジュマル

ここには定年退職してから移り住んで悠々自適の生活をしている方達が大勢います。夜には車を貸してもらっている肥後さん、今年3月に結婚したばかりの可愛い奥さんをつれて船に遊びに来ました。ヨットに乗るのは始めてで、中が広いのに吃驚していました。

5月12日 今日朝から雨、船にいても揺れているだけなので車で出かける。最近ゴミがやたらと捨てられないので苦労します、少しずつ小分けにしてはコンビニやスーパーのゴミ入れにそっと捨ててきます。お昼は以前食べて美味しかったイルマーレと言うイタメシ屋さんに行く、家内はアサヒガニのスパゲッティ、私はホタテのペントーネを食べましたがとても美味しかったです。午後からは屋久杉自然館に行き、屋久杉の歴史を勉強をしました。帰り何時ものギャラリー金五山にてコーヒーブレイク、ここのご主人も東京の方で、屋久島が気に入って移住してきたそうです。趣味で集めた絵画を飾って喫茶店をしています。今日もまた大浦温泉に入ってヨットに戻りました。

5月13日 今日は昨夜から土砂降りの雨、屋久島は本当に雨の多い所です。9時頃より雨もやんだので又車で出かける。今日は反時計廻りに屋久島を一周するつもりです。先ず屋久島灯台を訪ねる、第二次世界大戦時の爆撃にも耐えた灯台だそうです。世界遺産の中で唯一車で通れる西部林道に行く、雨上がりの新緑が目まぶしいくらい美しい、うっそうとした樹木

のトンネルを窓を一杯空けて車をゆっくりと走らせる、時々屋久鹿の親子連れがゆっくりと道を渡っていく、幻想的な光景です。大川の滝を訪れる、雨上がりのせいかすごい水量で、此方までしぶきがかかってくる、雄大な滝でした。尾之間温泉に寄る、ここの温泉は源泉そのままでも熱く、絶えず水で薄めているかけ流しの温泉です。底には玉石が敷き詰めてあって気持ちが良い。料金も200円と格安です。次はフルーツガーデンに寄り色々な熱帯の果物の試食をしてきました。千尋の滝にも寄ってきました、花崗岩の絶壁の傍を流れる滝です。道端所々に旗がたっています、今日から始まるツーデーマーチの案内でした、一種のウォークラリーで全国から参加者が集まってくるそうです。



大川の滝

いよいよ明日は屋久島を発って内之浦に行く予定です。夜には田中さん石楠花の鉢とツーデーマーチのよもぎ餅をお別れに持ってきてくれる、本当に親切な方です。

屋久島クルージング 7

5月14日 6時屋久島出航する、出口付近波悪く風も20ノットオーバー船は激しくローリング、ピッチングを繰り返す。時々青波が崩れて

デッキを川のように流れている。両手両足を踏ん張って耐える。3時間たって海況も少しよくなりスピードも出るようになり9時間かかって3時過

ぎに内之浦に着く。早速温泉に入り疲れをとる。帰りヨット近くの料理屋瀬里奈にて定番のお刺身定食とテンブラ定食を食べる、美味でした。

5月15日 6時内之浦を出て宮崎に向かう。港を出る頃は海も静かでしたが、都井岬を回った途端に真正面からの波となりパンチングが激しくなりしぶきを被るようになる。日本の海はかように岬を回った途端に急変する事が多いので油断出来ません。2時30分サンマリナ宮崎に着く。このマリーナは何度来ても入りにくい、右側から砂で浅くなっていて多くのヨットが座礁したそうです。夜には内之浦でお会いしたヨット「まんぼう」の弓場夫妻がワインや野菜を持ってセレナを訪問、お互い我侭な亭主を持った奥さん同士で話が弾みました。とても楽しい一ときを過ごしました。

5月16日 今日は朝から雨、宮崎県立美術館に古代エジプト展を見に行く。古代エジプト人は死んでからの来世での復活に多大の関心を持っていた様です、又紀元前にこんな立派なレリーフや石像を残していたことも驚きでした。帰りイーオンにより映画を見ようと思ったが時間が合わず明日再度来る事として雨の中40分ばかり歩いて帰る。

5月17日 今日は水曜日、MDネット[医師アマチュア無線]の交信日です。6時30分よりワッチする。めずらしく2エリアのIZO局、3のAEF局等が59オーバーで強力に入感する。航海に出て初めて皆さんと交信できました。朝から激しい雨、オイルスキンにブーツと言う重装備で出かける。途中森の詩季にてランチを済ませ、昨日見れなかった映画「ナイロビの蜂」を見る。アカデミー賞にノミネートされただけあって見ごたえの有るストーリーでした。何年かぶりで

涙を流しました。帰りに『ようこそ』でコーヒーブレイクして船に戻る。ブーツを履き傘をさして一時間以上も歩いたので大分疲れしました。



森の詩季のランチ

5月18日 雨、雨、雨の毎日です、『ようこそ』でモーニングを済ませバスで科学技術館にプラネタリウムを見に行く、開演は午後3時からとの事であきらめシーガイアへ泳ぎに行く。オーシャンドームで波の出る砂浜で泳ぎ、流れるプールで泳ぎ大分疲れしました。夕食を食べ帰りましたが雨が激しくなり下半身ずぶ濡れとなってしまいました。今日は細島向け出航の予定でしたが、台風崩れの熱低が大雨を降らしそうなので今暫く宮崎で天候待ちです。

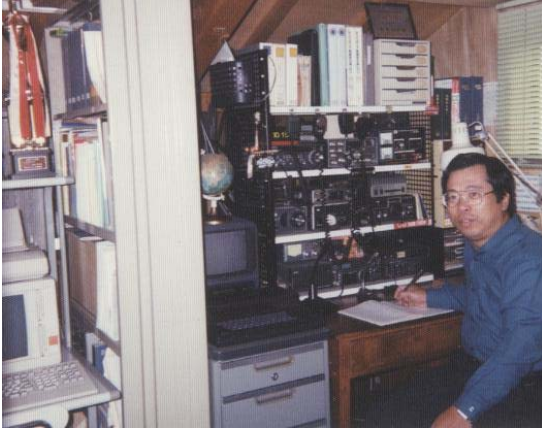


シーガイアのプール

(次号に続く)

「MARS医学アワード年間賞」を受賞して

JR2NRP 本多 清(愛知県)



国外の大きな自然災害に続き、国内でも『岩手・宮城内陸地震』が発生し、被災された多くの方々には心からお見舞い申し上げますと共に、9月には私の住む「岡崎市近辺」でも大きな地震が発生すると週刊誌に掲載されています。

さて、この度は思いがけず嬉しい「年間賞」を頂き、大変光栄に思いますと共に、本当に有り難うございました。又、貴連盟総会が盛況時に終わられました事を心よりお慶び申し上げます。

私は、平成17年5月の「JARL 会員30年表彰」を機に、これまでの集大成として、上級資格を取得し、各種のアワードに挑戦し、取得させ

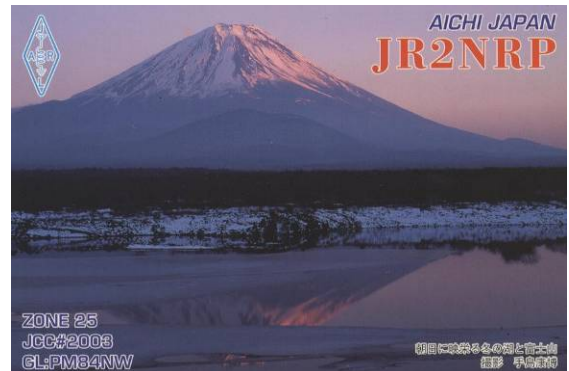
て戴きました。

思えば、私が HAM になる前、多くの病院の屋上には大きな ANT が建っていて「遠い世界の方々」と思っていました、「MARS 医学アワード」取得に加え「年間賞」を頂き、身近な存在に近づいたと感じているところです。

最近では HAM の資格者は増えているとはいえ、携帯電話やパソコンの普及で「メール等による意思疎通が増え、声を出す方は激減」し、淋しい感じがします。そして、「感情表現が上手に出来ない、機械化人間化時代」に向かっている気がします。『喜怒哀楽』を表現して始めて人間らしくなるのでは・・・と思ひ「声を出す大切さ」を痛感しています。

長くなりましたが、お送り戴きました「記念のトランシーバー」は、集大成に大きな花を添えて戴く事になり、末長く大切にに使わせて戴きます。

それでは、貴連盟の益々のご盛況と、会員の方々のご健勝をご祈願申し上げ、御礼の挨拶とさせていただきます。



庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの事務手続きはMARS事務局へ。

(事務局)

〒175-0092 東京都板橋区赤塚4-17-11

井上医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 03-5968-5777

F A X 03-5968-5778

E-mail fumimasa@cb3.so-net.ne.jp

MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

まで、お送りください。

パソコン(またはワープロ)の場合、再入力の手間を省くため、フロッピーディスクもしくはCD-Rの郵送、またはE-mailでお送りください。特殊記号などが文字化けすることがあり、プリントアウトした原稿もファックスまたは郵送してください。

手書き原稿もOKですが、なるべく上記の方法でお願いします。

写真は紙焼きの郵送でもE-mailでも結構ですが、高画質画像をMOまたはCD-Rに保存してお送り下されると、さらにFBな仕上がりになります。なお、紙面の都合により、原稿を短縮させていただいたり、写真の選択やトリミングをさせていただくことがありますので、ご了承ください。

編集後記

5月に北海道総会に参加した際には洞爺湖サミットの直前とあって物々しい警備や検問所が設けられておりました。総会会場となったANAクラウンプラザホテル千歳では、夜遅くまでラウンジで鋭気を養っているTシャツ姿の屈強な若者達と、朝食時に航空会社の制服でピシッと決めたクルー達、そして我々MARSのメンバーのみが宿泊していたようでした。

当局はエクスカッションを欠席して早朝の便で帰るためにタクシーに乗車したのですが、なんとホテルの横の空き地には機動隊のバスがずらりと整列しており、運転手さんに尋ねると岡山県警からの応援部隊とのこと。昔のようにP-chがワッチ出来たら如何に楽しいだらうと想像しながら、新千歳空港でエアバンドを聞いてから帰りました。

あの頃はぶっちぎりのはずだった阪神タイガース、原稿を締め切った時点ではジャイアンツと同率首位です。発行日には結果が出ておりますが、さてどうなっていることやら。無線だけでなく野球等の他の趣味の記事もご投稿をお待ちしております。

(DE JF3JON)

日本医師アマチュア無線連盟会報

(第67号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：平成20年10月20日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：西岡総合印刷株式会社

Tel073-425-1341 Fax073-436-0855

URL <http://www.nishioka.co.jp/>

E-mail info@nishioka.co.jp